

「大学入試英語成績提供システム」参加試験ニーズ調査 学校調査票

このたびは標記調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。
貴校に関する以下の情報を黄色セルにご記入の上、
本シートと併せてQ1～Q6までの計4シートにご回答の記入をお願いします。

1. 学校名

例: ○○県立文科高等学校

2. 高等学校等コード

※以下URLに掲載の「高等学校等コード表」を元にコード番号を記入してください。

<http://www.dnc.ac.jp/albums/abm.php?f=abm00009713.pdf&n=10%E9%AB%98%E7%AD%89%E5%AD%A6%E6%A0%A1%E7%AD%89%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%89.pdf>

3. 学校所在地市区町村コード

※以下URLに掲載の「都道府県コード及び市区町村コード」を元にコード番号を記入してください。

http://www.soumu.go.jp/main_content/000442938.pdf

4. 大学進学を希望と思われる高校1年生(H30.4現在)の人数

人中

人程度

大学進学を希望と思われる高校1年生が在籍しない学校は、本調査への回答は不要です。

5. 本調査のご担当者について

お名前

所属・役職等

電話番号

メールアドレス

本調査へのご回答内容について確認が必要な場合、文部科学省担当者から問い合わせることがあります。その際にご対応いただける方をご担当者として記入願います。役職は問いません。

＜2020年度における高校3年生がその年度の4月～12月に受検する試験について＞ **【必須回答】**
 Q1. 参加試験について、貴校に在籍する現在の高校1年生が3年生になった際、大学入学者選抜に用いるため、どの試験をどの月に受検すると予測されますか。大学進学を希望する生徒について、黄色もしくは水色のセルに人数(半角数字)を記入してください。2回目を受検する場合についても、本調査票に併せて記入してください。

記入上の留意点:

- 1) 試験の実施会場や時期については、**現状がどうであるかに関わらず**、希望する月に、在籍する学校がある地域(市区町村内)で試験が実施されると仮定してお答えください。
- 2) 実用英語技能検定(英検)、GTEC、ケンブリッジ英語検定について、受検する級・レベルを詳細に予測することが難しい場合は、水色セルに入力してください。(この場合、黄色セルには入力できなくなります。)

入力欄 コード	資格・検定試験名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月～ 12月初旬
	実用英語技能検定(英検) 黄色の入力欄(1～5)もしくは水色の入力欄(23)のいずれか一色の欄にのみ入力								
1	1級								
2	準1級								
3	2級								
4	準2級								
5	3級								
23	上記のいずれかの級								
6	IELTS								
7	TEAP								
8	TEAP CBT								
	GTEC 黄色の入力欄(9～12)もしくは水色の入力欄(24・25)のいずれか一色の欄にのみ入力								
9	Advanced								
10	Basic								
11	Core								
12	CBT								
24	Advanced・Basic・Coreのいずれか								
25	CBT								
	ケンブリッジ英語検定 黄色の入力欄(13～20)もしくは水色の入力欄(26～30)のいずれか一色の欄にのみ入力								
13	C2 Proficiency								
14	C1 Advanced								
15	B2 First for Schools								
16	B2 First								
17	B1 Preliminary for Schools								
18	B1 Preliminary								
19	A2 Key for Schools								
20	A2 Key								
26	C2 Proficiency								
27	C1 Advanced								
28	B2 First for Schools・Firstのいずれか								
29	B1 Preliminary for Schools・Preliminaryのいずれか								
30	A2 Key for Schools・Keyのいずれか								
21	TOEIC® Listening & Reading Testおよび TOEIC® Speaking & Writing Tests								
22	TOEFL iBTテスト								

<試験実施会場としての可能性について>

Q3-1. 参加試験の実施団体から貴校に会場貸与の依頼があった場合、教育活動に支障のない範囲で、教室等を参加試験の試験会場として貸与することは可能ですか。該当する選択肢の右の黄色セルに○を入力してください。また、1もしくは2に○を付けた場合、貸与にあたって考慮が必要と想定されるその他の条件があれば、なるべく具体的にご記入ください。【必須回答】

※本質問は、公立学校については設置者がご回答ください。(設置者で一つの回答で結構です。学校別に回答を作成する必要はありません。)

1. 無償貸与が可能

2. 有償での貸与が可能

(1. もしくは2. と回答した場合: 考慮が必要なその他の条件(あれば))

3. 貸与はできない

(Q3-1で「2. 有償での貸与が可能」と回答した学校・設置者にお聞きします。)

Q3-2. 参加試験の実施団体に有償で貸与する場合の借料について、今後減免措置を検討いただく余地はありますでしょうか。該当する選択肢の右の黄色セルに○を入力してください。

※本質問は、公立学校については設置者がご回答ください。(設置者で一つの回答で結構です。学校別に回答を作成する必要はありません。)

1. 減免措置を検討する余地がある

2. 減免措置を検討する余地はない

(Q3-1で「1. 無償貸与が可能」または「2. 有償での貸与が可能」と回答した学校にお聞きします。)

Q4. 参加試験の実施団体から貴校に会場貸与の依頼があった場合、教育活動に支障のない範囲で、試験に用いるためのパソコンまたはタブレットを貸与することは可能ですか。それぞれについて、該当する選択肢の右の黄色セルに○を入力してください。また、2. に○を付けた場合は、貸与にあたって必要になると想定される条件についてもなるべく具体的にご記入ください。

※本質問は、公立学校については設置者がご回答ください。(設置者で一つの回答で結構です。学校別に回答を作成する必要はありません。)

※外部のインターネットに接続可能なパソコンまたはタブレット型端末についてお答えください。

パソコンについて

1. 貸与が可能

2. 条件次第で貸与が可能

想定される条件:

(1または2と回答した場合) 貸与可能な台数

3. 貸与はできない

タブレット型端末について

1. 貸与が可能

2. 条件次第で貸与が可能

想定される条件:

(1または2と回答した場合) 貸与可能な台数

3. 貸与はできない

<都道府県庁所在地へのアクセスについて>

Q5. 貴校から最寄りの都道府県庁所在地まで片道どのくらい移動時間がかかりますか。最も一般的な交通手段を使用した場合についてお答えください。【必須回答】

1. 1時間以内
2. 1時間～2時間
3. 2時間～3時間
4. 3時間～4時間
5. 4時間以上または宿泊が必要

Q6. 貴校から最寄りの都道府県庁所在地まで片道どのくらい移動経費がかかりますか。最も一般的な交通手段を使用した場合についてお答えください。【必須回答】

1. 1,000円以下
2. 1,000～3,000円
3. 3,000～6,000円
4. 6,000～10,000円
5. 10,000円以上

最後に、本調査への回答について、補足したいものがありましたらこちらにその内容をご記入ください。

--